

eastspring
investments

英国ブルーデンシャル・グループ 

イーストスプリング インド投資マンスリー

2021年3月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

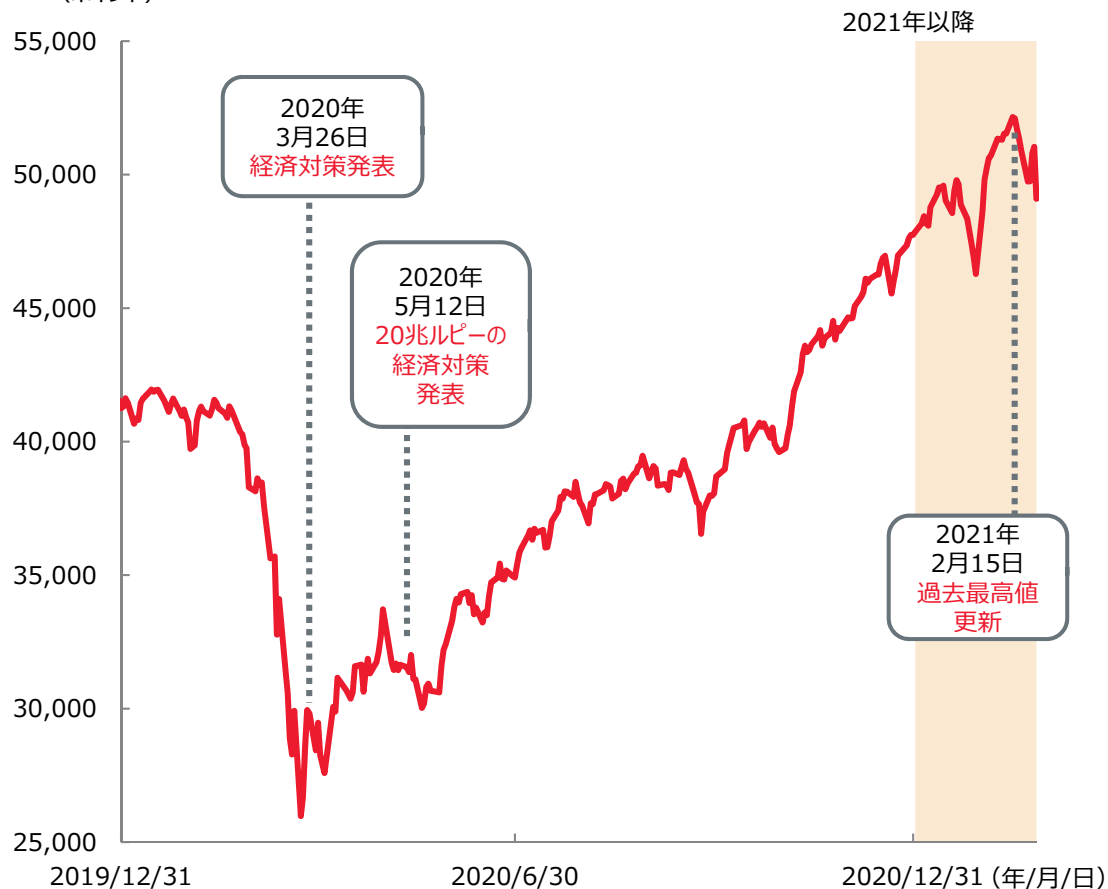
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

株式：予算案の発表、世界経済の回復期待で上昇

SENSEX指数の推移 (日次、2019年12月末～2021年2月末)

(ポイント)



2021年2月の振り返り

月初は2月1日に発表された2021/22年度国家予算案で、新型コロナウイルスの影響によって落ち込んだ景気の回復を支援するための財政拡大が好感されたことに加え、米連邦準備制度理事会（FRB）による追加経済対策の早期実現期待などを受け、SENSEX指数は大きく上昇しました。

中旬は米ナスダック総合指数が過去最高値を更新したことや、新型コロナウイルスワクチンの普及による世界経済の回復期待、インドの1月の消費者物価指数（CPI）が改善したことなどからSENSEX指数はさらに続伸し、過去最高値を更新しました。

月末にかけて高値警戒感から利益確定売りが膨らんだことに加え、インフレ懸念による米国の長期金利上昇を嫌気した世界的な株安に追随して下落しましたが、月間ではSENSEX指数は上昇となりました。

規模別指数の期間別騰落率 (2021年2月末時点)

	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	6.1%	11.2%	27.1%
中型株 (BSE中型株指数)	10.5%	18.1%	36.3%
小型株 (BSE小型株指数)	12.0%	19.4%	40.6%

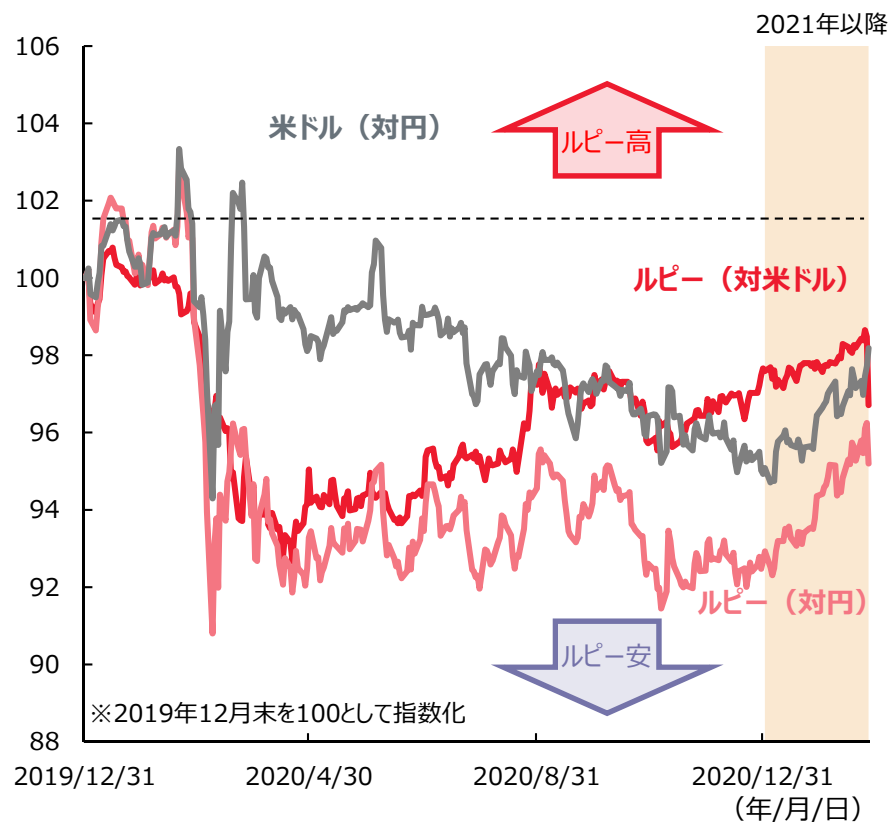
出所：Bloomberg L.P.、イーストスプリング（シンガポール）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※すべて配当無し（プライス）、インドルピーベース。

為替：インドルピーは対円で上昇、対米ドルでは下落

- 2021年2月のインドルピーは対円で0.9%の上昇、対米ドルでは1.1%の下落となりました。
- 2019年12月末以降、インドの外貨準備高は増加傾向にあり、中央銀行によるルピー売り・米ドル買いの為替介入が推定されます。

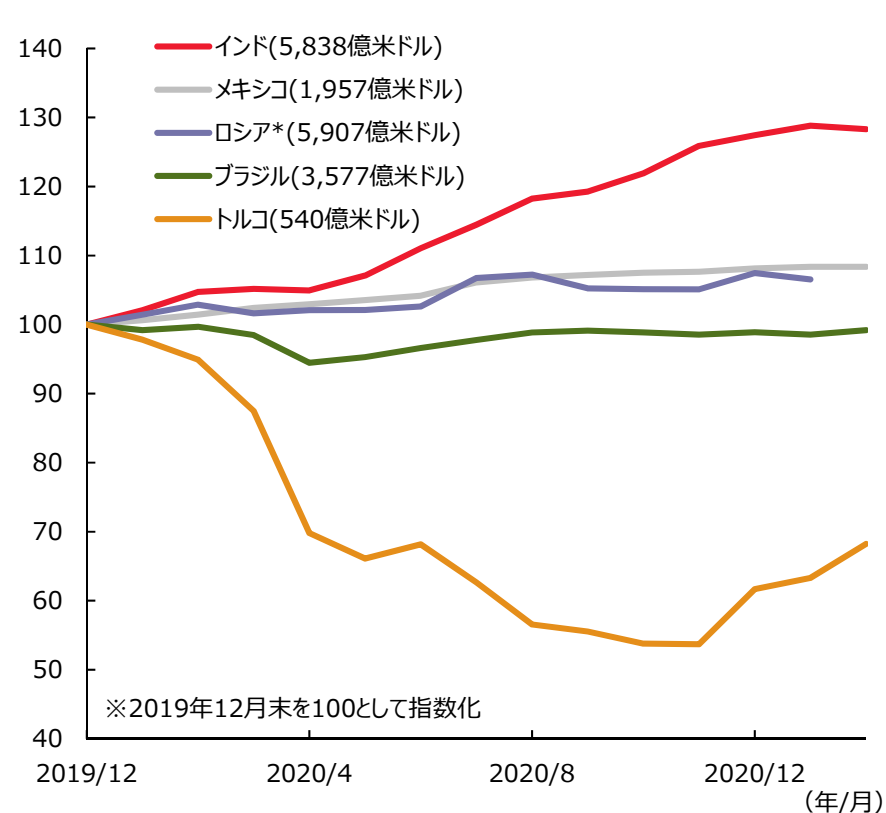
ルピーおよび米ドルの推移

(日次、2019年12月末～2021年2月末)



主要新興国の外貨準備高

(月次、米ドルベース、2019年12月～2021年2月*)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

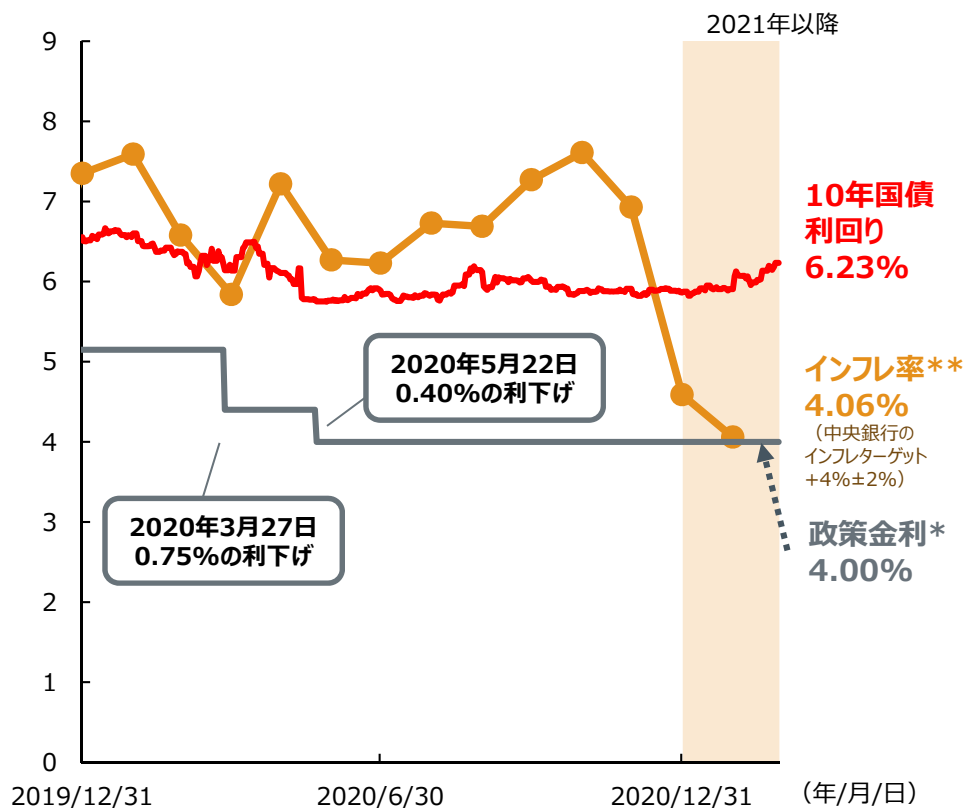
*ロシアのデータは2021年1月まで。

債券：財政拡大、インフレ懸念などを背景に利回りは上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(日次**、2019年12月末～2021年2月末)

(%)



2021年2月の振り返り

月初は2月1日に発表された2021/22年度国家予算案で大幅な財政拡大基調が示されたことで10年国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。

中旬はインド準備銀行（中央銀行、RBI）が、2021年4月から始まる新会計年度で指標利回りを6%前後に抑えるために、3兆ルピー（約4.3兆円***）の国債買い入れを目標にすると報じられたことなどを受け利回りは低下（価格は上昇）しました。

その後、国債入札では約7割を引受金融機関が落札する事態となったことに加え、原油相場の上昇によるインフレ懸念から、インド準備銀行が次回の金融政策決定会合で利下げを見送るとの観測が広がったことで利回りは再び上昇（価格は下落）し、10年国債利回りは月間で上昇（価格は下落）しました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2021年 1月末	2021年 2月末	変化幅
10年国債利回り	5.91%	6.23%	0.33%
10年社債利回り****	6.67%	7.21%	0.54%
利回り差	0.77%	0.97%	0.21%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2021年1月分まで。

***1インドルピー=1.44円で円換算

****10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

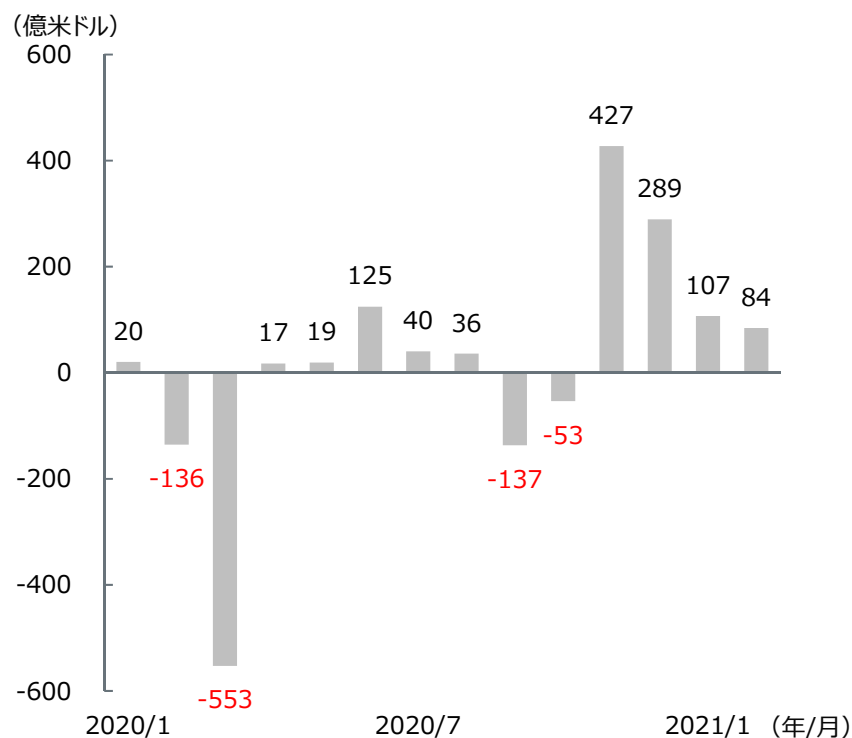
※10年国債は、2020年5月の途中で銘柄が変更されました。

資金流入が続く新興国株式市場とインド株式市場

- 新興国株式市場は、世界的なリスクオフ局面で資金が大きく流出する場合があります。直近の新型コロナウイルスによる世界的な株安局面では単月として過去15年間で最大の553億米ドルが流出（2020年3月）しました。しかし2020年11月以降、資金流入が継続しています。
- インドの株式市場においても2020年3月は資金流出となりましたが、2020年4月以降はほとんどの月で資金流入となっています。

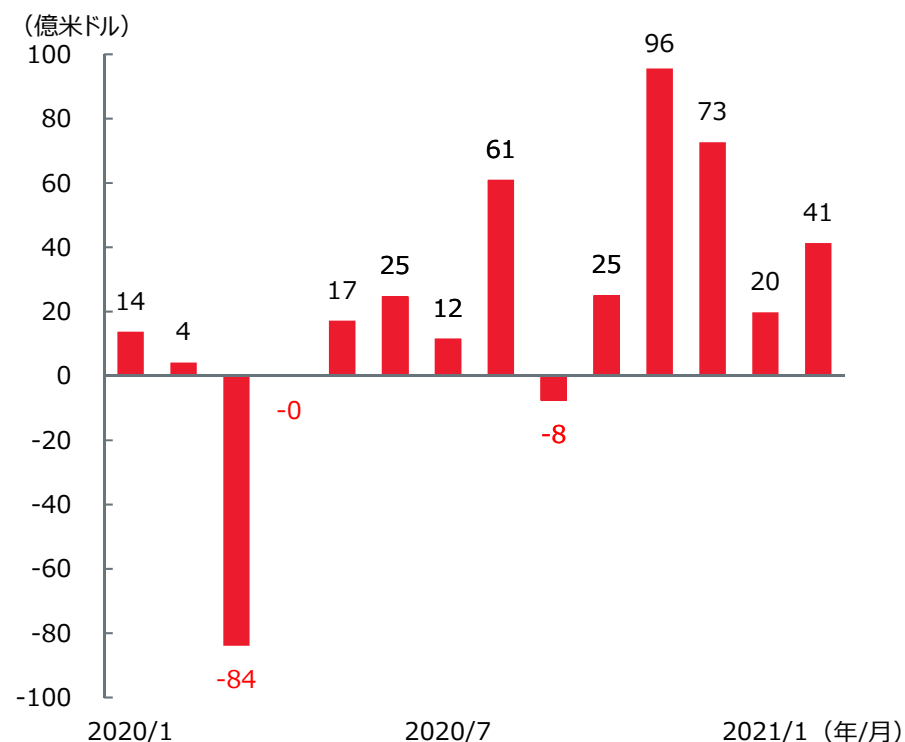
新興国株式市場への資金流出入の推移

(月次、2020年1月～2021年2月)



インドの株式市場への資金流出入の推移

(月次、2020年1月～2021年2月)



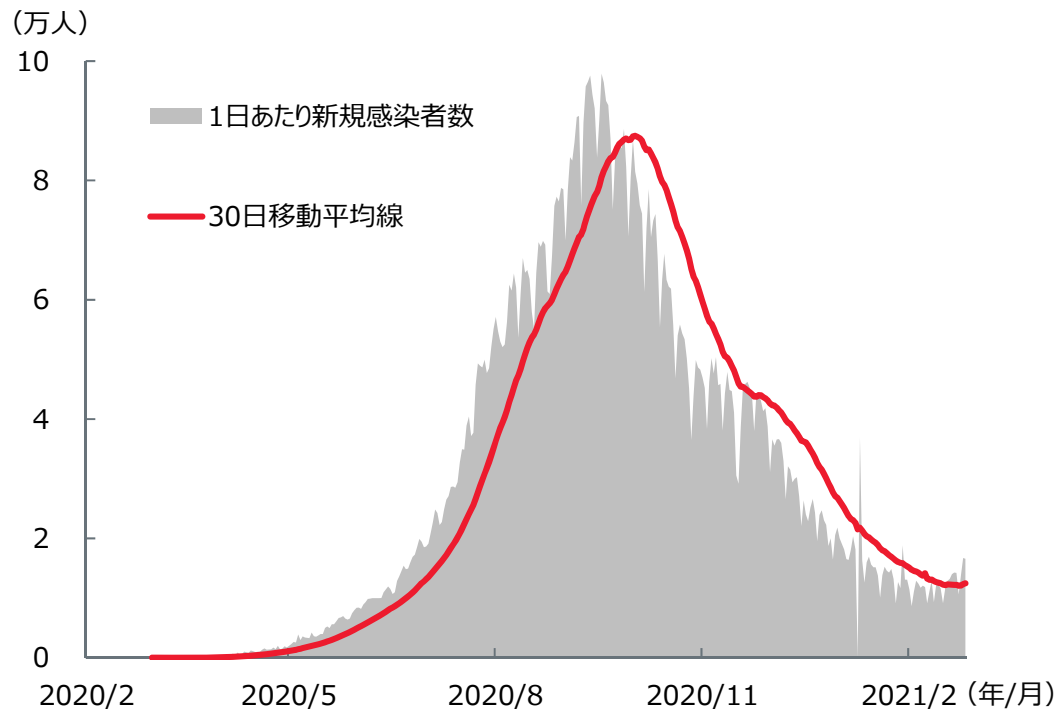
出所：IIF（国際金融協会）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※2020年6月以降については同協会による推計値。

減少に転じた新型コロナウイルスの感染者数

- インド国内の1日あたり新規感染者数は1.3万人前後（30日平均）で推移しており、ピーク時に比べると大幅な減少に転じています。
- また、2020年末比の感染者数の増加率も、他国と比べると比較的落ち着いた状況にあります。

インドの新型コロナウイルス新規感染者数の推移

（日次、2020年2月1日～2021年2月26日）



各国の新型コロナウイルス新規感染者状況

（2021年2月26日時点）

国名	累計感染者数	2020年末比
インド	11,063,491人	+7.8%
ロシア	4,223,186人	+33.7%
ブラジル	10,455,630人	+36.2%
米国	28,285,544人	+41.8%
日本	429,472人	+86.5%

出所：CEIC、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会